

【標準】強草目地シート施工マニュアル

株式会社白崎コーポレーション

施工前



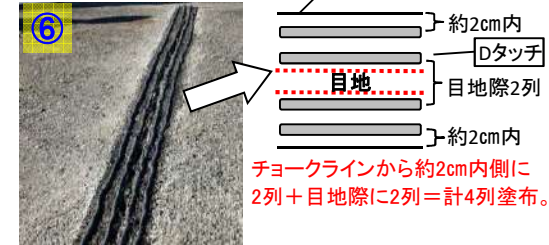
施工前の状態

プライマー塗布



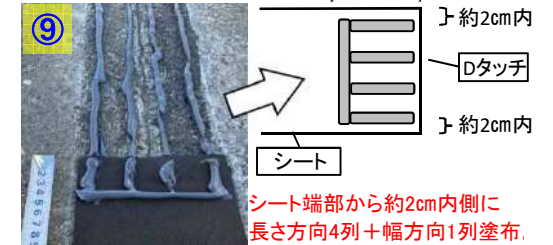
ハケを用いてシールプライマー#1を均一に塗布する。(塗布の目安:40g/m)

Dタッチ塗布



ノズルを先端から3番目でカットし、Dタッチを舗装面に4列塗布する。(1巻(5m)当り、Dタッチ3本使用目安)
※目地付近に段差がある場合は塗布方法を変更する。(2頁目参照)

シート延長部処理



貼り付けたシートの表層にDタッチを塗布する。5cm以上重ねてシートを貼り付けた後ローラーで圧着し、Dタッチが均等にひろがるようにシート全体に馴染ませる。

除草・路面清掃



草刈機などで地際まで刈り取った後、ワイヤーブラシなどを用い、土埃やコケの除去を行う。

プライマー養生



プライマーの溶剤が揮発し乾燥するまで、夏期は10分以上、冬期は20分以上、養生を行う。

シート貼付



強草目地シートを上げ、位置を合わせながら貼り付けていく。**※舗装部の劣化が激しい場合は重ね貼りを行う。(2頁目参照)**

隙間充填(シーリング増し)



シートと舗装面に隙間がある場合は、Dタッチで隙間充填する。

位置出し



ラインチョークなどでプライマー塗布の位置出しを行う。(幅15cm)

【塗布後の養生目安】

夏期:10分以上 冬期:20分以上

施工時の温度や湿度、路面状態によって養生時間は異なる。シート貼り付け前に指で触り、乾燥が十分か(ベタつきがなくなったか)を確認する。養生が足りない場合、プライマーに含まれる溶剤により接着力に悪影響が出る恐れがある為、注意する。

シート圧着



ローラーでシートを圧着し、Dタッチが均等にひろがるようにシート全体に馴染ませる。

完成



点検し、問題がなければ完成。

【特殊】強草目地シート施工マニュアル

株式会社白崎コーポレーション

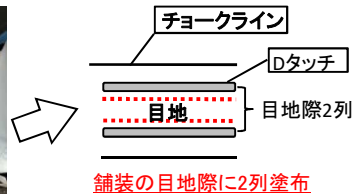
下記状況の場合は、工程が一部異なります。以下の手順ご参照ください。(当工程以外は同一手順となります)

・目地付近に段差がある場合・・・Dタッチ塗布方法変更(工程⑥)

Dタッチを舗装面とシート面にそれぞれ2列ずつ、計4列塗布する。

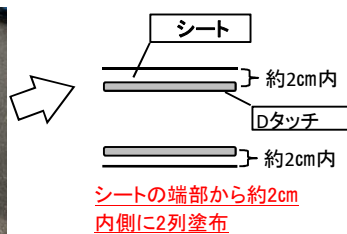
舗装面

Dタッチを目地際(舗装面)に2列塗布する。



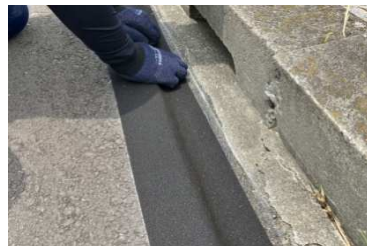
シート面

Dタッチをシート面の端部から約2cm内側に2列塗布する。



シート貼付

段差に沿わせるようシートを舗装面に貼り付ける。



・舗装部の劣化が激しい場合・・・シート重ね貼り(工程⑦)

貼り付け部が目地から5cm以上確保できない箇所はシートを重ね貼りする。

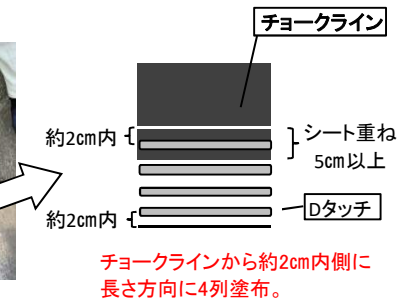
マーキング

シートにラップする部分をマーキングする。
(シート同士の重ね:
5cm以上)



Dタッチ塗布

Dタッチを4列塗布する。



シート貼付

シートを掀起、マーキングに沿って貼り付けていく。

